

平成29年度活動報告 御嶽山火山防災協議会構成機関の取組

資料1-2

○平成29年度に協議会構成機関が行った御嶽山火山防災対策の取組

(1) 避難対策

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
避難誘導看板の補修	木曽町	平常時の登山及び非常時の避難の際の距離目安のために設置した看板を補修(8合目からサイノ河原までの間 5箇所)	H29.8
	王滝村	(目的) 登山者が非常時の避難における距離目安としての確かな移動の判断材料とするため (内容) 王滝口登山道6箇所に看板を設置	H29.7~11
登山道の補修等	木曽町	登山者がより安全に登山又は避難できるよう登山道を補修(8合目から三ノ池の間と、ニノ池分岐上から山頂までの間)	H29.6~10
	王滝村	(目的) 登山者がより安全に登山又は避難ができるための環境整備 (内容) 王滝口登山道田の原遥拝所付近から王滝頂上山荘までの登山道の修繕及び鉄杭、ガイドロープの更新	H29.7~11
	下呂市 御嶽山遭対協	登山者が安全に登山や緊急時の避難ができるよう、小坂口から五の池小屋までの間の傷んだ木道等の一部を修繕 10月4日には岐阜森林管理署やその関係団体と協力し木道の修繕を実施 登山道の改修に向けた測量・設計を実施	H29.7~10
ニノ池本館建設工事	木曽町	登山者の休憩、宿泊及び避難施設として、また御嶽山安全パトロール隊の活動拠点として噴石対策を施した山小屋に改築。今シーズンは基礎工事まで、来シーズンは建築工事を引き続き施工する。	H29.6~10
御嶽頂上山荘解体工事	木曽町	山頂部分へ避難用シェルターを建設するため、使用不可能となっていた頂上山荘を解体。	H29.8~10
山小屋噴石対策工事への支援	木曽町 長野県	石室山荘が実施した噴石対策工事(アラミド繊維による屋根補強)に対する助成	H29.4~8
携帯電話不感地帯解消対策の検討	木曽町 長野県	ニノ池及びサイノ河原周辺での携帯電話不感地帯解消に向け、県とともに対応策の検討。	H29.4~
御嶽山山頂部避難施設検討会の開催	木曽町 王滝村 長野県	山頂部の立入規制解除に向けた施設整備等の方針を有識者を交えて検討	29.11.1

実施項目	実施主体	概要	実施時期
御嶽山安全パトロール隊	木曽町	登山者への安全指導、登山道の点検、立入規制箇所の監視及び進入者への対処、非常時の登山者の避難誘導。延べ出動日数159日、延べ出動人員386人	H29.6～10
パトロール員による巡視	王滝村	(目的) 登山者への安全指導や、登山計画書提出の呼びかけ等の啓発対策を実施 登山道及び入山規制場所の監視 非常時に登山者の避難誘導を実施 (内容) 1日2名を午前7時から午後4時まで、登山道入口付近及び入山規制場所に配置して、安全指導などの啓発及び監視 悪天候時の登山道通行止め及び登山者への周知 実施日数134日、延べ出動人員273人	H29.6～11
火山活動に関する情報の提供	気象庁	注意が必要な範囲(概ね500m)内で作業等を行う者に対して、火山活動に関する情報の提供を行う。	H29.8.21
情報共有体制	気象庁	御嶽山火山防災協議会事務局会議メンバー等において、平常時等においてメール等を活用して火山活動や各機関の取り組み等について情報共有するための仕組み(メーリング)を構築。	H29.8.21
火山調査観測等	気象庁	御嶽山の火山活動(主として噴火が発生した火口列周辺の状況)を把握するため、平成29年7月5日～7日にかけて現地調査を実施した。また、9月11日から15日には、熱観測、GNSS繰り返し観測、全磁力観測等を実施した。	H29.7,9
噴火警報(火口周辺)解除	気象庁	平成29年8月21日15時00分に、御嶽山の噴火警報(火口周辺)を解除し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引き下げた。噴気活動の活発な噴気孔から概ね500mでは、火山灰等のごく小規模な噴出に注意する必要があることから注意すべき範囲として設定した。	H29.8.21
情報伝達訓練	木曽町	無線機による非常時の情報伝達について確認	H29.9.1
避難訓練	高山市 (消防本部高山消防署)	(目的) 避難の初動対応の確認及び防災意識の向上を図ることにより、非常事態に備えた関係機関等の連携を図る。 (成果) 高根町日和田地区住民37名が参加(他に市職員、消防団員、高山市消防本部が参加) (課題) 高齢者が多い地区であり、正確に情報が伝わり避難できるよう検討が必要。	H29.9.3
救出救助訓練	長野県警察本部	噴火災害を想定し、物見の岩及び大峰城(長野市箱清水)において機動隊員による訓練を実施。 (訓練内容) ・山地行動、岩場での救出救助訓練、要救助者捜索・搬送訓練、ガス検知器・防毒マスク取扱い訓練	H29.12.19

実施項目	実施主体	概要	実施時期
御嶽山火山防災訓練	木曾警察署	開山祭直後に、登山道、避難ルート、緊急避難場所等を確認し、各種訓練を実施。	H29.7.6
初動体制訓練 (情報伝達)	岐阜森林管理署	(目的) 緊急事態の発生を想定した初動体制の訓練 (内容) 緊急事態の発生を想定した初動体制として、岐阜森林管理署に災害対策現地本部を設置し、衛星電話による情報伝達訓練やインターネットによる電子メール(携帯電話)を使った個人の安否確認訓練を実施した。 岐阜森林管理署だけではなく中部森林管理局や林野庁とも情報を伝達し共有した。	H29.9.1
避難訓練	アスモグループ(株) (御岳ロープウェイ)	(目的) 噴火想定により、初動対応の確認及び防災意識の向上、迅速かつ確実な避難体制の構築 避難連絡システムに基づいた各現場の事前確認、防災サイレンの吹鳴試験 (内容) 社内連絡システムにより、防災サイレンの吹鳴試験及び避難放送実施 (課題) ロープウェイが運休となった場合の避難誘導、避難経路(ロープウェイ山頂駅舎より下方、徒歩での避難による道路状況、誘導看板等)の確認が必要 ・山頂駅舎における避難誘導人員の確保	H29.4.27
情報伝達訓練	アスモグループ(株) (御岳ロープウェイ)	木曾町防災訓練に合わせ、防災サイレンの吹鳴試験実施	H29.9.3
救助計画	下呂市消防本部	下呂市消防本部では、平成26年御嶽山噴火時の消防活動の反省点及び教訓から、平成29年9月1日に御嶽山をはじめとする下呂市内山岳における「下呂市消防本部山間地救助活動計画」を策定した。これにより御嶽山再噴火時にも救助活動が速やかに行えるよう改善した。	H29.9.1
火山噴火に備えた職員 の研修等	中部地方整備局	火山噴火時に国土交通省が行う緊急調査についての研修を実施 他の地方整備局で実施された火山噴火対応訓練への参加	H29.12 H30.2
防災準備	濃飛乗合自動車株 式会社	異常気象時・噴火時の対策として、ドライビング教習用の大型バスに非常食・備蓄飲料・ヘルメット・発電機を装備して不測の事態に備える。	H29

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
------	------	-----	------

(2)啓発対策

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
立入規制看板の設置 (増設)	王滝村 木曽警察署	木曽警察署の協力で立入規制警告看板を設置 登山シーズン:9合目避難小屋付近等6箇所に設置 スキーシーズン:田の原周辺等3箇所に設置	H29.8～ H30.3
	下呂市 下呂警察署	御嶽山小坂口登山道入口に立入規制の周知強化のため警告看板を増設	H29.10.17
	高山市、下呂市、木 曾町、王滝村	御嶽山の火山噴火警戒レベルの引き下げに伴い、「御嶽山規制情報」を登山道口に掲示 * 火口から1km以内立入禁止(災対法第63条)H29.8.22～	H29.8.29
	高山市	火口1km以内の立入禁止区域の更なる周知啓発を実施	H29.10.13
安全対策啓発パネルの 掲示	木曽町 長野地方気象台	長野地方気象台が作成した“火山への登山の備え”その他のポスターをパネルにし、御岳ロープウェイ及び町 役場三岳支所へ掲示。	H29.5～11
御嶽山情報等の 看板設置	王滝村	登山道入口と田の原遥拝所付近に、火山の状況に関する解説情報、入山規制情報、火山防災マップ等を掲載 した啓発用看板を設置。	H29.6～11
デジタルサイネージを 活用した火山情報の提 供	王滝村	田の原観光センターに防災アプリを活用したデジタルサイネージを設置して、火山情報等を提供。 登山シーズン:田の原観光センターに設置 スキーシーズン:おんたけ2240スキー場に設置	H29.4～
図書配布(予定)	王滝村	「御嶽山二度と犠牲をださない」(東濃地震科学研究所 木股文昭 著書)を村内全世帯に配布。	H30.2.15
立入規制の周知 (ポスター)	木曽町 王滝村 長野県	御嶽山の規制状況を図示したポスターを登山者、観光客に周知。 掲示場所:登山口、道の駅、観光施設等 100枚	H29.6～
立入規制・登山届の周 知(啓発チラシ)	下呂市 御嶽山遭対協 岐阜県	登山口で火山情報、登山届の提出等安全登山についての啓発チラシを配布。 登山パトロールによる登山者指導の実施。 実施回数24回(述べ48日、55名)	H29.7～10

実施項目	実施主体	概要	実施時期
火山学習教室の開催	岐阜県 下呂市	(目的) 地域の子どもたちが御嶽山と共存していくため、実際に起こりうる現象についての理解を深め、正しい知識を身につけることを目的とした火山学習教室を開催。 (参加者) 金山小学校(5年生・12名) (内容) 火山を知る、御嶽山の噴火から学ぶ など (講師) 工藤 美華子 氏(岐阜地方気象台)、小窪 祐樹(岐阜県防災課) ・主催: 岐阜県、下呂市 ・協力: 岐阜県教育委員会、下呂市教育委員会、下呂市立金山小学校、岐阜地方気象台	H29.9.27
御嶽山火山マイスター制度の構築	長野県 木曾町 王滝村	火山防災に関する知識の効果的な普及・啓発を担う御嶽山火山マイスターの認定に向けた制度の構築。 検討会議4回。運営委員会1回。 年度内に御嶽山火山マイスターを初認定(予定)	H29.5.11～
安全登山・遭難防止啓発活動	木曾地区遭対協 木曾警察署 木曾地域振興局	御岳ロープウェイ飯森高原駅において、登山者に対して火山情報の発信、登山での注意点などチラシ等を配布して啓発活動を実施した。	H29.4.29 H29.7.30
県警ホームページへの火山対策掲載	長野県 警察本部	県警ホームページに火山対策を掲載 (掲載内容) ・県内及び周辺の常時観測火山、各火山の噴火警戒レベル、登山届に関する周知 ・各火山状況、登山道等の規制状況を示すため、関連HPへのリンク	H28.11～
署員教養	木曾警察署	署長及び次長が署員に対し、御嶽山の概要、火山防災計画の説明、各登山口と現在の規制状況、活火山法、再捜索の状況について説明。	H29.3.29
	高山警察署	「御嶽山火山防災計画」に基づき教養資料を作成し、朝会時に署員約45名に対し、噴火警戒レベルに応じた防災対応等について説明。	H29.8.2
登山者指導	木曾警察署	当署山岳高原パトロール隊による登山道入口、御岳ロープウェイ駅、黒沢口山小屋における登山者指導及び広報啓発活動を実施。	4.29,7.30, 10.7～10.9
わが家のセーフティリーダーによる啓発活動(学習登山)	木曾警察署	わが家のセーフティリーダーに委嘱された三岳小学校6年生7名が保護者等と女人堂において、登山者に対する安全啓発活動等を行った。なお、事前学習(8月31日)時に警察署長が再捜索の活動を説明した。	H29.9.9
岐阜県市町村防災担当者防災気象情報講習会	岐阜地方気象台	(目的) 火山の基礎知識等について理解してもらう (内容) 火山の基礎知識と噴火警報・予報・情報等が発表された場合や異常時の防災対応についての講演	H29.6.5～6

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
気象情報連絡会	岐阜地方気象台	岐阜県内の火山について講演会 (内容)火山の基礎知識や県内火山の活動状況について解説	H29.6.9
火山防災講演	岐阜地方気象台	岐阜県警察学校及び岐阜県消防学校において岐阜県内の火山について講演会 (内容)火山の基礎知識、噴火警報・予報・情報等が発表された場合や異常時の防災対応についての講演	H29.6.14 H29.8.24
火山への登山のしおり	岐阜地方気象台	火山への登山のしおりを作成、配布 (内容)安全登山のため、登山口や登山用品店等で配布し、登山口では登山者へ直接配布した。	H29.7
火山防災教育	岐阜地方気象台	岐阜県内の火山について講演会 (内容)白川郷学園の生徒に対して火山の基礎知識と異常時の対応についての講演	H29.11.2
濁沢川 治山砂防工事 施工現場見学会	木曾建設事務所、 木曾森林管理署	御嶽山噴火に対する恒久対策として木曾建設事務所で計画している濁沢砂防堰堤工事の現場見学会を開催し、事業のPRを行った。(参加者 約30名)	H29.9.3
登山者に向けた啓発	アスモグループ(株) (御岳ロープウェイ)	・山麓センターハウス チケット売り場周辺で気象庁の火山の状況に関する解説情報及び登山道規制状況の掲示、口頭による案内 ・山頂駅舎 木曾警察署、木曾地区遭難対策協会等合同による登山指導、登山者届提出喚起、火山状況案内	営業期間
木曾御嶽登山安全ガイド ドマップ制作	木曾町観光協会	御嶽山規制区域変更、警戒レベル変更等ルート of 安全面、登山ルート of 正確な情報を紙ベースで伝える目的で制作。28年度2回(元気づくり支援事業)、29年度2回(6月・9月)。商談会、山岳関係スポーツ店、登山道、ロープウェイ、濁河温泉、案内所・関係機関にて設置配布。(各 1万部)	6、9月

(3)その他

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
捜索・救助体制の強化	下呂市 下呂市消防本部 岐阜県	消防本部及び下呂市役所小坂振興事務所に噴火時救助用物品を配備 パーティカルストレッチャー、冬山救助用装備、救助用器具等の充実 事業費:3,260千円 内県補助1,630千円(岐阜県火山防災対策施設等整備費補助金)	H29.12～ H30.3予定
冬山救助訓練	下呂市 御嶽山遭対協 下呂市消防本部	御嶽山噴火時の登山者救助、怪我人搬送等について、現地で実際に器具等を使用して訓練を実施。	H30.3予定
山開き式及び安全登山 啓発	飛騨小坂観光協会 下呂市 岐阜県警察	御嶽山山開きの式典を実施。併せて登山口にて火山情報、登山届の提出等安全登山についての啓発チラシを配布。	H29.6.4
連携体制の強化	下呂市 下呂市消防本部 御嶽山遭対協 下呂警察署	御嶽山噴火災害時を含む下呂市の山岳救助に関する連携会議を実施 御嶽山の火山活動状況、救助拠点となる山小屋の状況等について情報共有 山岳救助時の連絡体制についての整理	H29.4.19 H29.9.12

実施項目	実施主体	概要	実施時期
御嶽ロープウェイ停止時の避難訓練	木曽警察署	当署山岳高原パトロール隊が御嶽ロープウェイ停止時における乗客の避難訓練を実施。	H29.4.27
災害対策基本法違反事件の検挙	木曽警察署	立入禁止の警戒区域に許可なく立入った男性3名と女性1名を検挙。	H29.3～ H29.11
名古屋大学御嶽山火山研究施設の設置支援	長野県 木曽町 王滝村	御嶽山の火山防災対策強化のため、県及び町村の財政・人的支援により名古屋大学の研究施設を木曽町三岳支所に誘致。 (施設の役割) ・御嶽観測研究の拠点 ・人材育成、防災教育 ・御嶽山火山マイスターやビジターセンターとの連携	H29.7.2～
御嶽山ビジターセンター(仮)の建設検討	木曽町 王滝村	御嶽山ビジターセンター(仮)等建設検討委員会を立上げ、具体的な検討を開始。	H29.10.30 ～
土石流対策及び減災対策の推進	木曽建設事務所	1 御嶽山噴火により堆積した火山灰や降雨・融雪等による土石流対策として、砂防堰堤工2基の整備を行う。 (砂)濁沢川 王滝村 柳ヶ瀬(平成27年度事業着手) 平成29年度実施内容:砂防堰堤工基礎部本工事 (砂)白川 木曽町 白川(平成28年度事業着手) 平成29年度実施内容:砂防堰堤工用地測量 2 御嶽山噴火に起因する土石流等の対策を行うため、緊急対策用資材の製作備蓄を行う。 御嶽山(平成28年度着手) 平成29年度実施内容:緊急対策用備蓄コンクリートブロック製作備蓄	通年
御嶽山における現地調査	岐阜県警	立入規制解除を見据え、登山者の安全対策として規制区域内外の「登山道・避難経路」等を調査。	H29.8.24,25 H29.9.21,22
火山噴火に備えた職員の研修等	中部地方整備局	火山噴火時に国土交通省が行う緊急調査についての研修を実施。 他の地方整備局で実施された火山噴火対応訓練への参加。	H29.12 H30.2
初動体制の確保 連携体制の強化	陸上自衛隊 第13普通科連隊	災害発生時及び予測事態等において、迅速に初動対応して人命を救出するため、常時即応態勢を維持。 平時より情報収集及び人命救助に必要な訓練等を実施して、災害対応能力を維持。 各会議、講演会に参加し、関係機関との連携強化及び識能の向上を企図。	通年
地殻変動の監視 地理空間情報の提供	国土地理院 関東地方測量部 中部地方測量部	GNSS連続観測及びだいち2号(ALOS-2)による干渉SAR技術を用いて地殻変動を監視し、火山噴火予知連等に情報提供。 火山周辺の地理空間情報を整備し、必要に応じて火山防災協議会及び関係構成機関に提供。	H29年度
土石流減災対策工の施工	木曽森林管理署	王滝村濁川(御嶽国有林内)地内にコンクリート谷止工2基を施工中。 ・第64号コンクリート谷止工(下流側)は平成26年度補正予算にて着工し、平成30年度中の完成の見込み ・第65号コンクリート谷止工(上流側)は平成28年度補正予算にて着工し、早期完成を目指して工事を継続 平成29年9月3日、王滝村民等を対象に濁川復旧治山工事現場見学会を実施し約40名が参加した。	H27.3.23～
マニュアル改訂	下呂土木事務所	下呂土木事務所の御嶽山火山噴火防災(減災)業務マニュアルの内容について、通行規制区間や融雪型火山泥流の減災対策の内容等を最新版に更新した。	H29.12.25

実施項目	実施主体	概要	実施時期
御嶽山慰霊安全登山	木曾町観光協会 三岳支部	地元関係者12名が9合目まで登山。噴火映像、献花台での慰霊を兼ねて安全面の確認を行った。	H29.7.9
施設の防災体制の強化	木曾町 (御岳ロープウェイ)	(火山災害備蓄品の設置と放送機器設置等) [御岳ロープウェイ] ・大型サイレン 1基、避難施設案内看板、拡声器 12台、防災ヘルメット 510個、マスク 2,000枚、ゴーグル 1,000個、毛布 300枚の配備 ・応急手当備品、救助用品の配備(災害多人数用救急箱、AED、担架、バックボード)	H29.4.15